

単元指導計画表

小学校第5学年

小数のわり算
【新編 新しい算数5上 P.48～63 (東京書籍)】

全11時間

引 「見方・考え方」を引き出す発問の視点

- 引①：持っている知識や経験から導き出させる。
- 引②：多様な考えを持たせる。
- 引③：課題を見いださせる。
- 引④：考えの見通しを持たせる。

鍛 「見方・考え方」を鍛える発問の視点

- 鍛①：自分だったらどう考えるかを再考させる。
- 鍛②：知識を関連させ、概念的・汎用的な考えに高めさせる。
- 鍛③：考えを比較、検討する必要性を生じさせる。
- 鍛④：考えをゆさぶる。

次	時	本時のねらい	主な学習活動	引	鍛	視点番号
				「見方・考え方」を引き出す発問	「見方・考え方」を鍛える発問	
1	1	除法の意味（等分除）に着目し、数直線や図、言葉の式を用いて話し合うことを通して、小数で割ることの意味を考える。	<ul style="list-style-type: none"> • 小数の場合も除法の計算が使えるかという課題を捉える。 • 整数÷小数の式を立てた理由について考え、説明を考える。 • 学習を振り返る。 	引	〔除数の部分を隠した問題文を見せながら〕 どのような数字だったら計算して答えを求められますか？	引③
				鍛	小数でもわり算が使えるのはなぜでしょう。	鍛②
	2	除法の意味（等分除）に着目し、数直線を用いて話し合うことを通して整数÷小数の計算の仕方を考える。	<ul style="list-style-type: none"> • 整数÷小数の計算の仕方を考えるという課題を捉える。 • 整数÷小数の計算の仕方考え、ペアや全体で話し合う。 • 学習を振り返る。 	引	300（整数）÷25（小数）の計算の答えを求めるために、今までに習ったどのような考え方が使えそうですか？	引④
				鍛	〔複数の考えから共通点を見付けさせてから〕 小数で割る計算の「こつ」（大事なこと）は何でしょう。	鍛②
	3	わり算の性質（除数と除数に同じ数をかけても商は変わらない）に着目し、小数を10倍にして整数で求めることを通して、筆算の仕方と比較しながら、小数÷小数の計算の仕方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> • 小数÷小数の計算の仕方考えるという課題を捉える。 • わり算の「こつ」を使った計算式と筆算を比較しながら、計算の仕方考え、ペアや全体で話し合う。 • 筆算の仕方を理解する。 • 適用問題に取り組む。 	引	〔小数÷小数の式を立式した後〕この計算を解く上で何か困ることはありますか？	引③
鍛				小数で割る計算の筆算は、わり算の計算のどのようなきまり（性質）を使っているでしょう。	鍛②	
4	十進位取り記数法の性質に着目し、3つの筆算（商が純小数や、被除数に0を補う場合等）の比較を通して、小数÷小数の筆算の仕方考え、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> • 前時までの計算との違いから学習課題を捉える。 • 3つの筆算の仕方を比較し、小数÷小数の筆算（商が純小数や、被除数に0を補う場合）の仕方考え、全体で話し合う。 • 適用問題に取り組む。 	引	昨日学習した筆算の計算と、どこがどのように違うでしょう。	引①	
			鍛	〔違いのある3つの筆算を見比べ〕 どの筆算でも使っているきまりは何でしょう。	鍛②	
5	除数と商の関係に着目し、数直線を用いて考えたり、商を比較したりすることを通して、純小数で割ると、商は被除数より大きくなることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> • 除数が1より大きい場合と小さい場合のわり算の計算から学習課題を捉える。 • 数直線を使って除数が1より小さい場合の商を考える。 • 1より小さい数で割ると商は被除数より大きくなることを複数の問題を計算し、理解する。 • 学習を振り返る。 	引	〔除数が1より大きい計算と除数が1より小さい計算を複数解かせてから〕 どのような仲間に分けられるでしょうか？	引①	
			鍛	割られる数と割る数、商は、どのような関係がありますか？	鍛②	

6 ※授業例		被除数や除数、商と余りの関係に着目し、小数の除法での余りの大きさを捉え直すことを通して余りを求める。	<ul style="list-style-type: none"> 余りの表し方をどうすればよいかという課題を捉える。 余りの大きさについて調べる。 調べたことを発表し、全体で話し合う。 筆算の余りの求め方を理解する。 適用問題に取り組む。 	<p>引 <u>〔余りのある計算をし、整数で表された余りと小数で表された余りがあることを確認してから〕どうして余りの数が違うのでしょうか。〕</u></p> <p>鍛 <u>余りを求めるときに大切なことは何でしょう。</u></p>	引① 鍛②
	7	割り切れない場合の商に着目し、既習の概数に表すことを通して、割り切れない商や桁数が多い数の処理の仕方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 割り切れない計算をすることから課題を捉える。 割り切れない場合の概数の表し方を考え、全体で話し合う。 適用問題に取り組む。 	<p>引 〔割り切れない計算を取り組ませて〕何か大変だったことはありますか。</p> <p>鍛 どのような時に概数が使えますか。</p>	引③ 鍛②
	8	基準量と除数の関係に着目し、除法の演算決定について数直線を用いて考えることを通して、除法の立式を説明する。	<ul style="list-style-type: none"> 基準量となる数量に着目しながら課題を捉える。 基準量となる数量が変わると、被除数、除数がどうなるかを考え、話し合う。 適用問題に取り組む。 	<p>引 〔問題文例「3.6mの重さが0.6kgのロープがあります」を提示してから〕どのような問題が作れるでしょう。</p> <p>鍛 問題のたすね方と式には、どのようなきまりがあるでしょう。</p>	引③ 鍛②
2	9	除法の意味（包含除）に着目し、数直線を用いて考え話し合うことを通して、比較量、基準量が小数の場合も、倍を求めるときは除法を用いればよいことを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 等分除と包含除の問題の違いを捉える。 倍を求める計算を想起し、課題を捉える。 倍（割合）を求める計算を考え、ペアや全体で話し合う。 小数の場合も、何倍かを求める計算はわり算で行うことを理解する。 学習を振り返る。 	<p>引 〔等分除と包含除それぞれの問題文を同時に提示し〕どこがどのように違うでしょう。</p> <p>鍛 〔小数で表された0.75倍や1.8倍等を示し〕0.75や1.8という数字は、どのようなことを表しているでしょう。</p>	引① 引③ 鍛②
	10	基準量、比較量、割合の関係に着目し、数直線を用いて考えを説明することを通して、倍を表す数が小数の場合でも、基準量を求めるときは口を用いて乗法の式で表し、除法を用いて口を求めることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 基準量を求める課題を捉える。 基準量の求め方の考えを、数直線を用いて、ペアや全体で話し合う。 基準量の求め方を理解する。 学習を振り返る。 	<p>引 〔倍を求める問題、基準量を求める問題、比較量を求める問題を提示し〕どこがどのように違うでしょう。</p> <p>鍛 もとにする大きさを求めるときのこつは何でしょう。</p>	引① 引③ 鍛① 鍛②
	11 ※授業例	基の値段と値上がり後の値段に着目し、差による比較の他に、基の値段に対して、値上がり後の値段が何倍にあたるかを求めることを通して、倍を使って比較できることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 基準量が違う場合、増加量の比較をどうすればよいかという疑問から課題を捉える。 基準量が違う場合の増加量の比較の仕方を考える。 基準量が違う場合、倍を用いて増加量が比較できることを理解する。 学習を振り返る。 	<p>引 ノートと筆箱の値段の上がり方が大きいのは、どちらだと思いますか。その理由は何でしょう。</p> <p>鍛 基にする量がそれぞれ違うときは、どのようにして比べればよいでしょう。</p>	引③ 鍛②